

令和8年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○他者と協働し、生徒が「わかった・できた・つながった」を実感できる授業のあり方及びその評価方法について検討・共有する。	○他者の考えを知り、自分の思考を深めるとともに、課題の解決方法について考えることができる力を育む。	○I C Tの効果的な活用やグループワーク等の活動を取り入れた授業について共有・実践する。	○生徒による授業評価における「授業中に得た知識をもとに、自分の考えや解決方法について考えることができている」の回答が、すべての教科で80%以上「あてはまる」になったか。					
2	生徒指導・支援	①生徒に「かかわる・寄り添う・見守る」教育支援体制を推進するとともに、生徒が自らの課題に気づき、その課題を解決しようとする姿勢を育てる。 ②生徒の規範意識を定着させる指導のあり方を検討し、生徒が自身を律して社会で生きていく力を育む。 ③学校行事や部活動等をおして、他者と協働して豊かな人間関係を構築する力を育む。	①相談から支援につなげるプロセスを明確化し、教育相談体制のさらなる充実を図る。 ②自身の行動を客観視し、他人を思いやることのできる規範意識を育てる。また日常的なマナー指導の要である服装・身だしなみ指導の計画的実施を図る。 ③部活動の加入者を増やすとともに、学校行事等において、生徒が主体的に活動できる場を設定する。	①過去の相談・支援事例を整理・共有することにより、職員の相談・支援スキルを高める。 ②L H Rなどを通じて、日常的な規範意識喚起につなげる。 ・巡回警備体制を見直し、逸脱行動の抑止・生徒間トラブルの早期発見につなげる。 ③学校行事や委員会等において、生徒会役員を中心に生徒自らが企画運営をする機会を設定する。 ・部活動が学校行事で活躍できる機会を増やす。	①相談事例・指導事例の記録整理し、共有することができたか。 ②意識喚起の機会を設けることができたか。 ・巡回警備体制を柔軟・有効に見直し、逸脱行動の抑止と、生徒間トラブルの早期発見を果たすことができたか。 ③生徒が企画運営する機会を多く設定することができたか。 ・部活動加入率が 30%以上になったか。					
3	進路指導・支援	○生徒の社会生活実践力を育成し、社会とつながり、主体的に進路設計ができる力を身につけさせる。	① 他者とのかかわりの中で、自分自身や他者への理解を深めるとともに、社会における自己の役割を認識し、積極的に社会に関わろうとする態度を育む。 ② 生徒一人ひとりが主体的に進路実現を目指せるよう、適切な支援を行う。	①「総合的な探究の時間」の様々なプログラムを通じて、自己の適性や社会における自己の役割について理解を深めさせる。 ② 個別面談を通じて、生徒たちの抱える課題を把握し、必要な情報の提供や進路支援を行う。	① 「総合的な探究の時間」の各プログラムを計画的に実施することができたか。 ② 生徒たちの抱える課題等を適切に把握し、必要な進路支援をすることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	○地域や外部の諸機関等との連携体制を整備・拡充し、地域と協働した教育活動・学校運営を行う。	○生徒が地域とつながる活動の活性化を図るとともに、地域・外部機関との連携を通じて社会とつながる力を育む。	○特別活動・授業・生徒会活動等において地域の方との交流の機会を増やす。 ・生徒が外部機関を有効活用できるよう支援が必要な生徒に情報提供を行う。	○生徒が地域のイベントに参加したり、地域の方と交流したりする場面を増やすことができたか。 ・外部機関の利用について、生徒に具体的な内容を説明し、利用を促すことができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安全、安心な教育環境を維持・推進するとともに、本校の教育活動に適した学習環境の整備を進める。 ②保護者や地域と連携した防災教育活動を進め、生徒の防災に対する意識を涵養する。 ③事故不祥事防止を推進し、学校に対する信頼を深める。	①生徒の安全を確保し生徒増加に対応した、よりよい学習環境を整備する。 ②生徒、保護者及び教員の防災意識を高め、より深く保護者や地域との連携を図る。 ③職員の危機意識を高め、事故・不祥事を未然に防ぐ職場環境を整える。	①太陽光パネル設置工事および体育館天井補強工事を安全に進め、生徒の安全な活動場所の確保をする。 ・生徒増加にともなう教室を確保するため、教室配置の再整備をする。 ②保護者や地域の方などと連携し、防災研修・訓練を実施する。 ③入学者選抜や成績処理に関するマニュアルの整備や不祥事防止会議・研修の定期的な実施、風通しの良い職場作りと職員間の情報共有に努める。	①生徒の安全な活動場所を確保し、工事に支障がないように工事を終えることができたか。 ・来年度以降の授業が円滑にできるように教室を整備できたか。 ②保護者や地域の方などが参加できる防災研修・訓練を行うことができたか。 ③マニュアル等の整備、不祥事防止会議の定期的な実施、生徒に関する情報共有会等の実施をすることができたか。					